

優良取組事例③

優良取組事例	1 ボイラーの燃料転換 燃料転換（A 重油から都市ガス） ⇒約 1,360tCO ₂ /年 削減			
その他取組事例	2 小水力発電設備の設置（平成 23 年度実施予定） 排水の落差による流れを利用した小水力発電			
事業者名	独立行政法人国立印刷局			
事業所名	岡山工場			
主たる業種	パルプ・紙・紙加工品製造業			
事業の概要	日本銀行券用紙の製造			
温室効果ガス排出量	基準年度	12,712 tCO ₂	当該年度	9,733 tCO ₂
原単位当たり排出量 （ — ）	基準年度	— tCO ₂ /	当該年度	— tCO ₂ /
当該年度削減実績	総排出量削減率	23.4 %	原単位削減率	— %
エネルギー消費が 大きい設備	抄紙機 紙料設備（原料設備）→高圧機器 10 台以上			

優良取組の詳細

1 ボイラーの燃料転換

●取組

A重油ボイラー（10t/h・13t/h）2台について、温室効果ガスの排出削減及び生産規模に適合した設備へ更新することを目的とし、都市ガスボイラー（6t/h）2台及び、空調用都市ガスボイラー（2.5t/h）1台へ更新した。



都市ガスボイラー（6t/h）



空調用都市ガスボイラー（2.5t/h）

●効果

都市ガスボイラーには、温室効果ガス排出量削減のほか、硫黄分及びばいじんの排出量が少ないといったメリットがある。

CO₂ 排出量：1,360t/年削減

その他取組の詳細

2 小水力発電設備の設置（平成 23 年度実施予定）

●着目点

紙を生成する工程で大量の水を使用することにより、約 300m³/h の排水が出る。これをエネルギーとして有効利用することに着目。

●取組

排水の落差による流れを利用して小水力発電を行い、新規設置のフィルター設備周りに必要な外灯に利用する。

●類似事例

これまでに太陽光と風力発電を併用した外灯を設置している。（平成 22 年度）